

トランクファインダ方式

Trunk finder system

加入電話による電報受付方式(1155または115)として、トラヒックの少ない局では電話交換台のような電話集信装置が受付席に用いられたが、より多くのトラヒックを扱う東京や大阪局では、入トランクを受付席側から自動的に選ぶトランクファインダ式の電話託送装置を使用した。

クロスバ方式

crossbar system

着信順の受け付けや受付者の負荷均衡を図るとともに、別席で扱っていた公衆電話発信電報や郵便局発信電報を混合受付ができるようにクロスバ方式によるTC形電報受付装置を導入した。

ランダム分散方式

Random distribution system

TC形電報受付装置の老朽化に伴い1990年にACD10形電報受付装置の導入とあわせ、ネットワークのデジタル化に対応可能とするため、従来の115専用回線網からフリーダイヤルのシステムをベースに共通線信号方式のネットワーク機能などを活用した網構成に切り替えた。この方式では、NSPの「広域代表機能」によって複数の電報受付拠点へ115を「あふれ呼方式」で分散させることが可能となり、受付効率と応答サービスの向上が図られた。

当初は、全国を5ブロックに分割し115を分散させていたが、1999年からは東西2ブロックの広範囲なエリアでの分散となっている。